

第1回会議での意見内容とりまとめ

※当該資料は、第1回会議の委員意見を踏まえ、事務局が、タイトルや分類等を整理したものです。

総合政策部 政策推進課





■ 若者や女性にとって魅力あるまちとは？

人材還流

- ① 学生の就職にあたっては多くの学生がうまくマッチングできて市外に流出しないまち
- ② 県外に進学した学生が、奨学金支援を受け地元に戻りやすく自立しやすいまち
- ③ 就職の際に戻ってきたいと思うまち
- ④ 世界中のどこにいても、心のよりどころであり、戻ってきたくなるまち

子育て

- ① 女性だけでなく、男性も子育てしやすいまち
- ② 子育てがしやすいまち
- ③ 八戸圏域で、子供連れで行きやすいお店の情報発信があるまち
- ④ 女性が働きながら子供を産み育てたくなるまち
- ⑤ 子育てする人が一番えらいまち

シビックプライド

- ① 伝統文化など地域のきらめく何かが地域の方に根差し、地方に暮らす意味を感じられるまち
- ② 地域コミュニティの充実が図られ、住みやすいまち
- ③ 住みやすいまちづくり
- ④ 昔の思い出がある場所が今も多く残っているまち
- ⑤ 自分のまちに対して、自信と誇りを持てるようなまち
- ⑥ 過干渉になりすぎないコミュニティがあるまち
- ⑦ ・大切な人がいるまち
- ⑧ 愛憎相半ばのまち
(関係人口の観点からもったいなさの可視化)

賑わい

- ① はっち市など、定期イベントが増えて、まちなかに人が集まるまち
- ② 中心街を中心にしたイベントや店が充実している
- ③ 人が集まっているまち (現状、おっさんには良いまち)
- ④ 見るだけで楽しめるまち
- ⑤ ホコテン等のイベント時だけでも中心街の駐車料金が無料になるまち

仕事

- ① 地域の伝統工芸などの継承がうまく引き継がれ、生業につながるようなまち
- ② 空き店舗の活用などにつながる創業支援があるまち

その他

- ① 街路や歩道が整備され安全安心なまち
- ② 若者・女性に焦点が当てられていると感じられる取組がある



■ その実現のために必要なことは？

	シビックプライド	子育て	賑わい	人材還流	仕事	その他
情報発信		<ul style="list-style-type: none"> 若者や女性が興味あることに人を集めて、みんなが楽しんでいることをSNS等で発信 小さな子供連れがゆっくり食事できる店舗の情報やベビールーム等の情報の一覧化 			<ul style="list-style-type: none"> 中高生向けの情報発信 	
デジタル		<ul style="list-style-type: none"> 町内会のデジタル化 忙しい子育て中の方でも、必要な情報をすぐ見つけられるようなシステムづくり（バーコードリーダーの活用等） 				
仕組みづくり		<ul style="list-style-type: none"> 子供のために使える休日を与える企業等に補助金を出す等の支援 子ども同士の結びつきの維持 			<ul style="list-style-type: none"> 学んだ成果を地域に活かす体験作り（教育と地元企業とのコラボ） サマーキャンプやインターンなど、若い学生が地域の職業を知る機会づくり 	
	<ul style="list-style-type: none"> 八戸圏域で連携し、単発ではなく継続的に人のつながりが維持・発展していくような仕組みづくり 					
意識・視点	<ul style="list-style-type: none"> 意識・仕組み・政治参画 市の外側からのエネルギーをどう生かしていくかが重要 まちの仕組み自体を見直すような視点が必要 					